

一七四九番

白雲しらくもの 竜田たつたの山やまを 夕暮ゆふぐれに うち越こえ行ゆけば
滝たきの上うへの 桜さくらの花はなは 咲さきたるは 散ちり過すぎに
けり 含ふめるは 咲さき継つぎぬべし こちごちの
花はなの盛さかりに 見めさずとも かにもかくにも 君きみが
み行きゆは 今いまにしあるべし

反歌はんか

一七五〇番

暇いとまあらば なづさひ渡わたり 向むかつ峰をの 桜さくらの花はなも
折をらましものを